



一般社団法人
全国高等学校PTA連合会

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
(連絡先) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 (奥田ビル) TEL03-5835-5711 FAX03-5835-5757
発行人 田名部 智之 URL <http://www.zenkouren.org/> eメール info@zenkouren.org



本年度も各単位PTA並びに都道府県市、各地区のPTA活動にご参加、ご協力頂きまして誠に有難うございます。この全国高P連会報は本号にて第100号の節目となりました。途絶えることなく会報を発行できていることに合わせて感謝いたします。

さて、私は昨年度、会長就任以来、「不易流行」の心を大切に本会の運営に努め、先輩方が大切にされてこられた崇高な理念や方針は変えず受け継ぎながら、時代に合った変革・改革も進めてまいりました。全国会長会議・事務局長会議・総会・委員会など全高P連の会議に参加されている各県連会長そして事務局長・役員方はその変化に気が付き、良い評価として感想を頂いているところでもあります。変化といっても私が勝手に良いと思ったことを断行するのではなく、会議出席者の意見や

情報を汲み取り丁寧に総務委員会や理事会にて協議して遂行しています。それは、時間や手間や労力・気力を費やしますが、昨今のPTA離れやPTA運営の難しさに対し全高P連が模範となるべく実験・挑戦しているところでもあります。

全国高P連会員が活躍される各地域は気候や文化、人の気質や考え方もそれぞれですし、会長と事務局長でも立場も違います。また、先生と保護者も年齢・性別・経験・職種（役割）など違います。当然ながら違いが多い程、トラブルのリスクは上がる訳ですが、これまでの会長をはじめ役員の皆様方は時代の後押しもあり強烈なリーダーシップの下、各PTA組織を維持されてきたのだと拝察いたします。皆さんもコロナ以前とコロナ以降では大きく社会の流れや考え方に変化が生じている事で自分が所属す

る組織（PTA）の運営に戸惑いを感じているのではないのでしょうか。

昨今、強烈なリーダーシップはハラスメントや透明性や公平性に欠けると受けとられやすく、学校やPTAも守りの運営をせざるを得なく、場合によっては活動自体の抑制や縮小に向かい、結果、会員の減少や役員のなり手不足など負のスパイラルに陥っている話も聞きます。

やっと生徒達がコロナ明けとなりアクティブに高校生活を楽しんでいる姿を見られるようになったのに活動を応援することに制限がかかってしまうのは残念であります。

また、今の時代に合ったPTAの運営について正解は解りませんが、全国のPTAのリーダーである県連会長・事務局長が集う全高P連において大いに実験と実践を試みてはと考えております。

新年のご挨拶文にある教育に関わる新聞に掲載

しましたら、購読者からご意見を頂戴しました。私は挨拶文に「当会は会員数約190万人です。」という表現をし、それに対し全高P連は各都道府県市P連が会員なので当会の会員数は190万人ではないので訂正文を出すべきとの指摘でした。確かに厳密に言えば指摘通りの所もありますが、挨拶文の本質を知ろうとせず、我々が新体制で行っている改革・改善を否定するための重箱の隅をほじくるような指摘には会長の責任において断固として謝罪も訂正もしないこととしました。

私はPTAとは社会教育団体である前に見返りを求めない究極の奉仕事業だと思っております。「ボランティア」と「奉仕」は見返りを求めない社会貢献活動という意味では同じ意味ですが「奉仕」は国や社会・人に尽くす為に組織・規模を継続する為

今号の主な内容

会長挨拶	1～2頁
令和6年度 全国高P連の活動報告	2頁
地区トピックス	2～5頁
関東地区／東京地区／北信越地区／東海地区	
第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会（ご案内）	6～7頁
賠償責任補償制度のお知らせ	8頁

の制約（会則等）があり
自由度の高い「ボランティア」とは違う部分があります。高等学校の生徒達

を身近で熱烈に応援する
人数が190万人います。
一人ひとり、単位PTAは
小さなチカラですが全国

PTAの想いを結集すると
物凄いチカラとなります。
全国高等学校PTA連合
会に属する全ての学校・

PTA・生徒達が益々活動
（行動）しやすくなる環境
を整え導いていく事が、ス
ケールメリットを持つ我々

全国組織の責務だと思っ
ております。皆が幸せにな
る新たなPTAの歴史を共
に作ってまいりましょう。

今後とも皆様のご理解
とご協力を宜しくお願い
申し上げます、挨拶といたし
ます。

令和六年度 全国高P連の活動報告

令和6年度定時総会開催

令和6年6月29日（土）
令和6年度定時総会を東
京ガーデンパレスにて開
催いたしました。

本会会員の都道府県市
高等学校PTA連合会出
席の下、第1号議案、第
2号議案、第3号議案は
多くの賛同を得て可決さ
れました。

代表理事（会長）には
田名部智之氏が就任いた
しました。

第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会開催

「歴史の町で変革を!!」
〜新たな時代が目に入らぬか〜
令和6年8月22日（木）・
23日（金）の二日間にお
き、茨城県水戸市等に
て開催いたしました。全
国からお集まりくださ
った約6,000人のPTA
会員の皆様、オンライン
視聴くださった皆様、と
もに茨城県の歴史と文化
を感じながら学びの機会

を得ることができました。

令和6年度全国会長・事務局長連絡会開催

令和6年10月5日（土）
ホテルマイステイズ新大
阪において、令和6年度
全国会長・事務局長連絡
会が開催され、会長・事
務局長別にグループに分
かれて協議いたしました。
会長グループ協議では現
在のPTAが抱える問題
課題について活発な意見交

換がなされ改善策を探っ
ていく意向となりました。

事務局長グループ協議

では各地区・都道府県市高
等学校PTA連合会の抱え
る問題が提起され、引き続
き協議していく必要がある
ことを確認いたしました。
また、成功裏に収めた
令和6年度全国大会茨城
大会報告・来年度開催い
たします全国大会三重大
会案内等の情報共有がな
されました。

令和6年度全国会長・事務局長研修会開催

令和7年2月1日（土）
東京ガーデンパレスにお
いて「令和6年度全国会
長・事務局長研修会」を
開催いたしました。

「高校教育の修学支援新
制度について」現役の高
校生を持つ保護者にとつ
て大きな関心事の一つを
文部科学省高等教育局よ
りご説明いただき、質問
にも丁寧にお答えいただ
くことができました。

「事例発表」として
PTA入会や活動に関す
るガイドラインの作成に

向けた取組を連合会会長
様方より賜りました。各
連合会活動にお役立てい
ただければ幸いです。

「PTA・PTA連合の
今」と「これから」ご
参加の会長方と同じ現役
の高等学校PTAの一員
でもある長島ともこ先生
の共感するところの多い
お話をいただきました。

その後、夏の全国大会
について各連合会より
令和6年度茨城大会報告、
令和7年度三重大会案内
さらに令和8年度大分大
会案内がされました。

関東地区

茨城県高等学校PTA連合会

第73回全国高等学校

PTA連合会大会「茨城大会」を開催

8月22日（木）23日（金）
の2日間、全国高等学校
PTA連合会茨城大会
を開催させていただきました。
「歴史の町で変革
を!!」〜新たな時代が目

に入らぬか〜というテー
マを掲げ、会場は水戸市
を中心に、ひたちなか市、
小美玉市に会場を設けさ
せていただきました。本
大会には、全国各地から

5,000名を超える
PTA会員や教育関係者
が集まり、学校教育や保
護者の役割についての議
論が交わされました。ま
た県内全域のPTA関係



者が運営スタッフとして
両日、各会場に参加者の
接遇および会場の運営に
あたりました。

大会の開催背景と目的

茨城大会は、毎年全国
各地で開催される全国高

等学校PTA連合会の一
環として行われました。
今回は特にコロナ禍を経
て学校と家庭、地域が連
携し新たな時代のPTA
活動はどうあるべきかと
いう課題について全国か
ら集った大会参加者の
皆様と意見交換、情報共
有をしていただき、本大
会で得られた知見を各地
域での活動に還元してい
ただくことを目的としま
した。本大会のメイン会

場である水戸市は水戸学
発祥の地です。水戸学は
江戸時代から幕末にかけ
て、藩政改革や政治課題
の解決を目的として変革
を遂げていきました。その
水戸の地で新たな時代の
PTA活動について議論
するということはまさに
時代に則した開催地であ
ると自負しております。

分科会について

分科会は、5つの会場

でそれぞれテーマを掲げ開催しました。テーマは次の通りです。

「教育の過去・現在・未来」く故きを温ねて新しきを知るく

「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」く新たな1歩を踏み出すためにく

「新・生きる力と家族の絆」く子どもの心に風邪を引かせないく

「みんなで考えよう、これからのPTA」くあるべき新しい姿とはく

「これからのコミュニティ・スクール」く地域社会との新たな連携・協働く
各会場では専門家の講

話、パネルディスカッション、参加者同士のグループディスカッションなど思考を凝らしバラエティに富んだ分科会を実行することができました。

全体会について

二所ノ関親方（第72代横綱・稀勢の里）による記念講演を開催しました。「不易流行」（不変のものと変化するもの）というテーマに、伝統と革新のバランスを取るこの大切さをお話し頂きました。歴史ある角界の伝統を重んじつつも、時代に合わせた新しい考え方や手法を取り入れることによる

人材育成のお話は、子どもたちへの接し方に限らず、私たちが社会において次の世代を育てるという観点でも大変興味深く示唆に富んだ内容でした。

茨城のPRと交流について

大会会場では茨城県の地元の特産品や観光地を紹介するコーナーを設けさせて頂き、地域の魅力を知っていただくことに注力しました。また分科会開催後は、各地区で交流会を設け参加者同士の親睦を深め、情報交換を図ることができたと思います。

大会全体を通して

今回の全国高等学校PTA連合会茨城大会の開催を通じて、全国各地にPTA活動に真剣に取り組む多くの仲間がいることに勇気づけられました。また、全国からお越しの仲間が充実した2日間を過ごしていただけたよう準備委員会が開催の2年前に発足し、歴代の県連会長を中心として事務局、県内各地のPTA関係者の皆様と議論・準備を重ね続けてきました。準備委員会から当日の運営までの経験が茨城県高P連の財産となり、また携わったすべての

方々の心に刻まれたと思います。この利他の精神がまさにPTAの本質であり、保護者、学校、子どもたちを結ぶ糸となるのだなと実感しました。

本大会ご参加の皆様が茨城で得た知識と経験を、お住まいの地域で少しでも還元して頂き、より良いPTA活動、新たなPTA活動の一助となることが出来れば、茨城大会の開催は意義があったと思います。また、大会運営に携わる1個人としても全国大会の企画・運営という経験を県内全域のPTA関係の皆様と共有できた事はかけがえ

のない思い出として生涯忘れることのない出来事だと感じています。茨城の仲間、全国の仲間感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

東京地区

東京都立高等学校PTA連合会

第35回東京地区

高等学校PTA連合会大会報告

2024年7月13日、

東京都立上野高等学校にて第35回東京地区高等学校PTA連合会大会が開催されました。

この大会は、東京都の公立高校のPTA会員や関係者が一堂に会し、交流や学びの場として毎年

行われています。

大会プログラム

午後1時に開会が宣言され、大会が華やかにスタートしました。

オープニングアクトでは、都立上野高校吹奏楽部が演奏を披露し、参加

者の注目を集めました。

その後、基調講演は、NPO法人ハンズオン埼玉の副代表理事である西川正氏が「トーク・フォークダンス」をテーマに、全員参加型のワークショップを実施しました。これは、フォークダンスの



NPO法人ハンズオン埼玉
西川 正氏

ように次々と相手を変えながら対話をする形式で、PTA会員と生徒が交流し、普段話す機会の少ない現役高校生とも会話を楽しむ場となりました。



トーク・フォークダンス PTA会員と高校生の対話交流



都立井草高等学校 書道部書道パフォーマンス



表彰式

その後、広報誌コンクリールの表彰式が行われ、以下の学校が各賞を受賞しました。

・表紙賞…
都立日野高等学校

・東京都公立高等学校PTA連合会賞…
都立農芸高等学校
PTA連合会会長賞…
都立豊多摩高等学校
・高校生新聞社賞…
都立国立高等学校

・校長協会賞…
都立国分寺高等学校
・東京都教育委員会賞…
都立井草高等学校
特に、井草高校の会報誌「井草」は、写真と記事のバランスが評価さ

れ、教育委員会賞の受賞となりました。
・エンディングアクト
大会の最後を飾ったのは、都立井草高校書道部による「革命」をテーマとした書道パフォーマンス

スでした。力強くダイナミックな書道の演出に、参加者の誰もが感動し、会場全体が一つとなる瞬間が生まれました。

第35回東京地区高等学校PTA連合会大会は、教育に関する深い学びと、PTA会員と高校生との交流が活発に行われた意義深いイベントでした。

北信越地区

富山県高等学校PTA連合会

「SNS等のトラブルから子どもを守るための一つの取り組み」

の影響、SNS等によるトラブルが看過できない状況になってきたことから、平成26年度に、「夜11時から翌朝7時までの時間帯は携帯端末を使用しない」ルールについて、各家庭や学校で話し合い、実行する運動「イレブン・セブン（11-7）運動」を開始いたしました。

その後、令和2年頃から、コロナウイルス感染症の世界的な大流行という未曾有の出来事が起こり、結果、子どもたちを取り巻くSNS等の環境は大きく変化しました。

携帯端末、特にスマートフォン上の利便性は飛躍的に向上しました。使用時間を制限するだけの印象

が強いこの運動名は時代にそぐわなくなるとともに、認知度は年々低下し、令和4年度には4割を下回るほどになってしまいました。

そういつた状況を踏まえ、ここ数年、この運動について様々な意見が出され、運動の中止も含め、見直しを検討することとなりました。

しかしながら、SNSを介したいじめ、ゲーム依存、契約トラブル、闇バイトなど、子どもたちが巻き込まれる深刻な問題は絶えません。利便性と危険性が同居しています。それ故に、この運動の持つ本来の意義・目的は色あせてきたわけであ



令和6年度高P大会・指導者研修会

令和5年10月県高P大会・指導者研修会において、会長提案でこれまでの経緯が説明され、新運動名を募集しました。子どもたち、保護者、先生から93点の応募がありました。それらの応募作に込められた作品意図に共

通していたことは、使用制限（禁止事項）を呼びかけるよりも、子どもたちが自らスマートフォン等の端末をいかに上手に使いこなすか、そのためにはどういったことに気をつけていかなければならないのか、自らルールを考え自ら守る、自主自律の精神を育てようということでした。

子どもたちをSNS等のトラブルから守り、充実した高校生活を過ごすことができるよう「スマート・スマホ運動」を展開していきます。そのためには、改めて子ども・保護者・先生に、運動の意義や内容への理解を深めてもらう必要があります。令和7年3月には県高P連会報で、新年度当初には生徒用と保護者用のそれぞれの啓発チラシ（裏面は相談窓口一覧）で呼びかけていくこととしています。



保護者用啓発チラシ



生徒用啓発チラシ



会報

東海地区

愛知県公立高等学校PTA連合会

「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」より

愛知県高P連では、他校での取組をヒントに日頃のPTA活動を見直すきっかけとなることを目指して、平成27年より「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」事業を実施しています。①安全・進路・ボランティア、②ノンジャンル、③特別支援の各部門で、単位PTAが取り組んでいる活動を募集し、紹介するものです。

応募された取組については、全校PTAからの投票に基づいて表彰団体を並び、表彰団体には活動発表も行つて頂きます。令和6年度の各部門表彰事例を紹介します。

部門①

愛知県立千種高等学校PTA

千種高校PTAは、コロナ禍を経てアップデートを繰り返し、義務感ではなく、常に「自ら参加したい!」と思える【伝え方】と【仕組みづくり】



文化祭支援の様子

でPTA理事を募集することに取り組みました。理事の募集に伴う既存役員の負担軽減も図り、令和6年度は161名の役員と理事が活躍しています。これまで口頭で行っていた活動紹介を、動画と写真を活用したプレゼンにし、活動の全体を分かりやすくしたこと、入学式後に全体で行っていたPTA理事説明会を、興味のある方を対象にして、検討する余裕を考慮した別日に開催したことが、PTA理事への不安解消に繋がりました。



護身術講座

《護身術》犯罪や危険に巻き込まれた時に、自分の身を守る方法を知る。

部門②

愛知県立岡崎北高等学校PTA

子供自身が生き残るための術を学ぶことを目的に、地域の行政機関とも連携した北高祭イベントを企画立案し、運営しました。



スポーツ大会支援の様子



交通安全VR体験

(協力：岡崎警察署)

《交通安全》VRやシミュレーターを体験し、自転車の安全運転意識を身に付ける。(協力：岡崎警察署、岡崎市防災課)

《地震》南海トラフ地震の恐怖を知り、命を守る行動がとれるようにする。(協力：岡崎市消防本部)

《避難所開設訓練》災害時に助ける側として動けることを目指す。(協力：岡崎市防災課)

《AED》AED使用の知識を身に付け、命を救う行動ができる人になる。(協力：岡崎市消防本部)

この取組では、学校・PTA・行政機関の連携によって互いの推進事業内容を知ることができ、想定以上のシナジー効果がありました。大人のサークル活動ともいえるPTA活動の醍醐味が詰まった北高祭となりました。

部門③

豊橋市立くすのき特別支援学校PTA

障害特性から、地域の夏祭り等のイベントに参加し楽しむことが難しい本校の児童生徒のために、保護者と教職員が協力して「PTAいいじゃん祭り」を企画・運営しました。



うちわ作りのコーナー

祭りの各コーナーは役員が中心となって、児童生徒・保護者が楽しめるものを考えました。また、開校10周年記念として、「豊橋市住みます芸人」の参加を豊橋市に要請し、実現しました。



“Gamag ∞”の皆さんのステージ

企画①みんなで楽しもう エアートランポリン、的当て、輪投げ、魚釣りゲームなど

企画②みんなで踊ろう ジャンボリミッキー、エビカニクス、くすのき応援歌など

企画③ゲストのパフォーマンスを見よう Gamag ∞ (特別支援学校職員と卒業生のバンド)、てらうだ、豊橋市住みます芸人

土曜日に開催したためか、想定よりも多くの児童生徒・保護者の参加がありました。また、いろいろなコーナーがあつて楽しめたという意見をたくさんいただきました。



第74回 全国高等学校PTA 連合会大会

2025

三重大会



出会は

はじまる

常若

のくに

とこわか



大会会場

津市産業・スポーツセンター

(日硝ハイウェイアリーナ・メッセウイングNHW)

大会第1日 8月21日(木) 全体会・分科会

9:30

教育視察(希望者)

11:30～

受付

13:00～13:20

アトラクション(四日市商業高校ギターマンドリン部)

13:30～14:30

開会行事・表彰式

14:45～16:45

分科会(1～4)

大会第2日 8月22日(金) 全体会

8:30～

受付

9:35～9:50

映像アトラクション(相可高等学校食物調理科)

10:00～11:30

記念講演 中島 伸子さん(井村屋株式会社 会長)

11:40～12:05

閉会行事

12:30～

教育視察(希望者)

分科会詳細

第1分科会 ”子育て、そして親育ち” ～言葉の力を磨き、子どもの心の声を聴こう～

基調講演Ⅰ 田部真樹子さん(三重県子どもサポートセンター理事長)

基調講演Ⅱ 岩崎由純さん(トレーナーズスクエア株式会社代表取締役社長)

第2分科会 ”実力発揮のコツ” ～無名野球部2校を甲子園に導いた元監督が伝授!～

基調講演 松葉健司さん(次世代リーダー育成会社 Human Freeman 代表)

ミニディスカッション

第3分科会 ”Well-Being な社会の実現に向けて” ～みんなで考えようこれからの青少年育成～

基調講演 國友 尚さん(アソビジョン代表取締役)

パネルディスカッション

第4分科会 ”Let's PTA!” ～これからのPTA活動を考える～

基調講演 レモンさん(山本 シュウさん)(オセッカイダー代表(ラジオDJ))

ミニディスカッション

「集い、想い、継なぐ」 三つの重なる明日への力

参加申込期間 令和7年6月2日（月）～6月27日（金）

参加費 7,500 円（現地参加 1 名あたり）

※現地参加された学校は、アーカイブ視聴もできます。

アーカイブ視聴費用 7,000 円（1 校あたり） 期日を決定の上、後日配信します

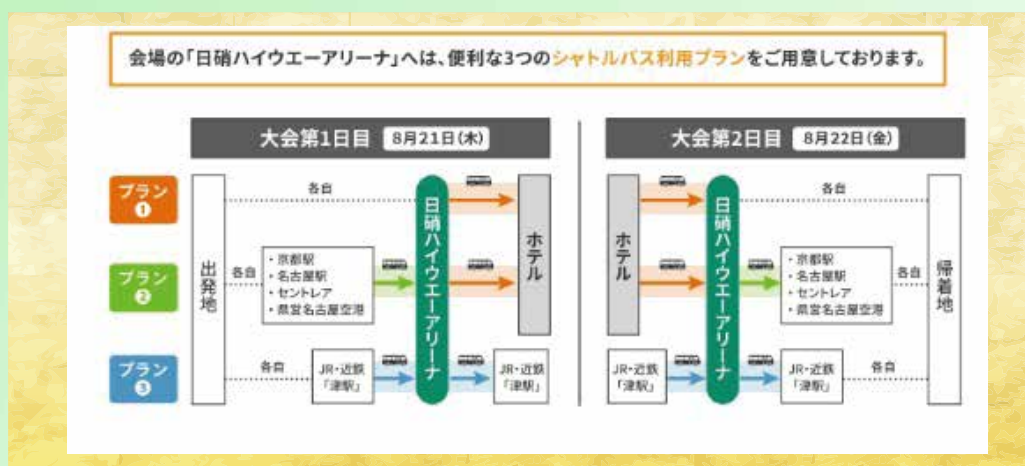
※三重大会は全体会・分科会とも LIVE 配信は行いません。

三重大会トピックス

- 大会会場へのアクセス大会は、専用シャトルバスをご利用願います。

※公共交通機関での来場はバスが少なく不便です。

※自家用車の駐車場は準備ございません。また、近隣にも駐車場はありませんので
自家用車でのご来場はご遠慮ください。



- 会場周辺には食事や買い物をする施設はほとんどございません。

※三重大会では多くの物産販売やキッチンカーを会場にご準備しています。

※食事や休憩をしていただけるスペースもご用意しています。

- 二次元コードを使用した受付を予定しております。

※事前チェックインが便利です。

※チェックイン終了のスマートフォンの画面でスムーズに入場できます。

- 三重県は、交通インフラや宿泊施設が十分ではありません。

- 鉄道で津駅までお越しの際は、JRは交通系ICカードの使用ができません。（近鉄は利用可能です。）

三重大会のホームページはこちら

<https://pta2025-mie.com/>



多くの皆さまのご参加をお待ちしております！

三重県高等学校 PTA 連合会

全国高等学校 PTA 連合会大会2025三重大会実行委員会

全国高等学校 PTA 連合会賠償責任補償制度のお知らせ

あなたの学校も加入しませんか？
全国加盟高校の2校に1校が加入しています。

掛金

年間 400 円（保険料 391 円 + 制度維持費 9 円）×生徒数

※補償開始日が令和7年4月1日の場合。補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和7年4月1日～令和8年4月1日

補償の範囲と支払済高額事故事例

＜生徒もしくはPTAに過失があった場合が対象となります＞



補償の範囲	補償限度額		事故発生 件数割合
1.生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人の賠償責任)	対人・対物合算 ^(注) 1事故1億円 (注) 対人事故・対物事故合算して1億円が限度となります。		99%超
2.P T A活動の遂行に起因する賠償責任 (P T Aの賠償責任保険)	対人	1名5千万円・1事故5億円	1%未満
	対物	1事故5千万円	
	保管物	加害者1名 10万円 保険期間中 500万円	

年度	支払金額 (千円)	事故内容
H19年度	87,915	無灯火の自転車車で歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。【過去最高支払金額】
H24年度	22,460	プライベートで外出中、自転車同士との接触事故。相手方脳挫傷となる、5か月後に死亡させた。
R1年度	47,549	自転車走行中、対向の歩行者を見て右に避けたところお相手歩行者も同じ方向に避け衝突した。
R2年度	44,352	マスコミ報道事案／免責 5000 円／重複他社損保ジャパン社あり

☆上記のとおり自転車による人身事故が高額支払いになる傾向がありますが、自転車事故に限らず国内における事故を24時間、幅広く補償しております☆

詳しくは、「全国高P連賠償責任補償制度」手引き・チラシをご覧ください。
(各学校へ1月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会
東京都千代田区神田佐久間町 2-1
奥田ビル 301 号
TEL.03-5835-5711

●引受保険会社

引受幹事保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 (担当：公務第二部 文教公務室)	TEL.03-3515-4133
共同引受保険会社	AIG 損害保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社	TEL.03-6848-8480 TEL.03-3259-4061 TEL.050-3808-5536

AIG 損保

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会後援
AIG高校生外交官プログラム
(参加費無料)
<https://www.highschooldiplomats.org>

「育てたいのは、
子どもたちの未来。」
私たちはAIG高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG損害保険株式会社
TEL.03-6848-8500 <https://www.aig.co.jp>

三井住友海上

安心のゴールキーパーでありたい。

**クルマの
保険**

**すまいの
保険**

**ケガの
保険**

マングローブの森づくり。
それは、豊かな地球を
未来に届けること。

マングローブ価値共創
100年宣言

東京海上日動
www.tokiomarine-nichido.co.jp

SOMPO

その声を安心に変えて。

補償範囲を見直してほしいというリクエスト。
規約がわかりづらいといったご指摘。
毎日、お客さま一人ひとりの声に全力で耳を傾ける。
毎日、いただいた声を元に保険を見直し続ける。
そうやって、私たちが向き合っているのは、
目の前のお客さまの安心だけでなく、
未来のお客さまの安心でもある。
これからも、ずっと。
お客さまの声に聞き合い、進化をつづけていく。

▼特設サイトはこちら

損保ジャパン